

防災ツアー（シナリオに沿った自動ガイド）

アイディア

タブレット端末を用いた避難訓練の観光ツールとしての応用

主な対象

防災に関心のある方、郷土文化に関心のある方、街歩きに関心のある方、など
※ツアー実施には、GPS搭載のスマートフォンやタブレットが必要になります。

概要

防災ヤットサーシステムのコンテンツ登録・作成機能やシナリオ作成機能を使って防災ツアーを作成します。作成した防災ツアーは、防災ヤットサーアプリを使って実施します。

基本的な仕組みは、予め指定したチェックポイントにアプリ（スマートフォン）をもった参加者が入ったら、チェックポイントに関連する防災コンテンツをアプリ上に表示するというものです。参加者はさまざまなポイントへ移動し、コンテンツを視聴することで防災知識を得ていきます。

例えば、地域の津波避難場所や地震・津波碑を巡るシナリオなどが考えられます。観光名所やグルメ情報を適宜入れると、息抜きにもなって、参加者の意欲が高まるでしょう。また、謎解き要素を入れれば、若者や子どもにも興味をもってもらえるかもしれません。

準備・手順

（1）防災ツアーの作成

防災ヤットサーシステムのメニューから「やってみよう」→「シナリオの準備をする」→「スライドを作成」または「コンテンツを登録」を選択します。スライド作成では、画像と文字を組み合わせた紙芝居のようなスライドコンテンツを作成できます。コンテンツ登録では、予め用意された画像、動画、音声を登録することができます（容量の大きなファイルには対応していません）。

防災ヤットサーシステムのメニューから「やってみよう」→「シナリオをつくる」を選択します。シナリオ作成では、デジタルマップ上でチェックポイント（通常シーン）を四角の領域として指定します（図1）。チェックポイントでは複数のコンテンツを表示することができ、スライドや動画の代わりに選択式クイズを表示することもできます。チェックポイントは移動シーンを介して結ばれます。条件を設定すれば、次に訪れるチェックポイントを参加者の選択やクイズの正誤に応じて変えることもできます。

（2）防災ツアーの実施

参加者を予め把握できる場合は、実施者が防災ヤットサーシステムへ参加者を登録してください（参加者自身が登録することも可能です）。参加者には、GPS搭載スマホに防災ヤットサーアプリをインストールしてもらい、防災ツアーのシナリオとコンテンツをダウンロードしてもらうことになります。

ダウンロードが成功したら、あとは（GPSを有効にして）アプリに従って防災ツアーを実施していただけます（図2）。参加者は個人で防災ツアーを実施することができますし、実施者ととともに団体での実施も可能です。

期待される効果

チェックポイントを巡るオリエンテーリング要素を取り入れた防災ツアーを通じて、楽しみながら、防災という観点で地域を見つめたり、過去の災害や復興に思いを馳せてみたりできます。「防災の重要性は理解しているけど、なかなか防災に関心が向かない」という方などを対象に、防災入門プログラムとして期待されます。また、防災ツアーの作成を通じた防災教育にも発展できそうです。

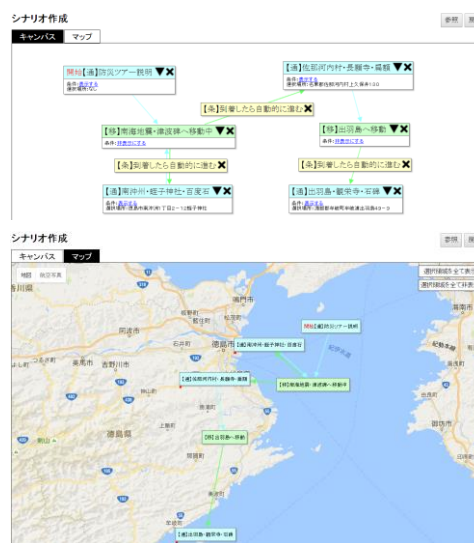


図1 シナリオ作成機能の画面



図2 防災ヤットサーアプリの画面（動画再生）